



ぽっかぽか ぞう組



5月は進級して初めての大きなイベント遠足がありました。遠足準備のご協力、ありがとうございました！生憎の天気ではありましたが、リュックを背負って、みんなで手を繋いで歩き、カモやごみ収集車を見つけてお話ししながらのお散歩は、みんなにとってとても楽しい思い出になったようです(*^-^*)これから梅雨の時期に入りますが、暑くても負けない体力づくりをしていきたいと思っています。



みんな大好き！お絵描き、塗り絵、折り紙

ぞう組では、折り紙・お絵描き・塗り絵の遊びや、糊・テープ等の道具等、指先を使った活動を日常的に楽しめる環境を整えています。

3歳児は手先の機能が少しずつ発達し「つまむ」「握る」「ちぎる」「張る」といった細かな動きが育ってくる時期です。様々な素材や道具に触れながら遊ぶことで、手先の巧緻性だけでなく、目で見たとものを手で調整する“目と手の供応動作”も育まれています。

最初は「できない…」「やって！」と大人に手伝いを求めていた子ども、経験を重ねることで「自分でできた！」という達成感を味わい、自信へと繋がってきています。

微細遊びで育まれる力は、今後の生活習慣や箸・ボタン・衣服の着脱・文字を描く活動等にも繋がる大切な土台になっていくので、これからもひとりひとりの「やってみよう」を大切に、楽しんで取り組める環境を整えていきたいと思っています。

育つのは指先だけじゃない！？

微細遊びの中では、手先の発達だけではなく、近年大切にされている“非認知能力※”も育まれています。

※IQやテストのように数値化できない、個人的なスキル（意欲、忍耐力、協調性、自己肯定感など）のこと

「どうやったらできるかな？」と考える力や、うまくいかなくても繰り返し挑戦する力、自分なりに工夫する力等は、遊びの中だからこそ自然に育っていきます。

完成した時の「できた！」という達成感は自己肯定感や自信に繋がり、「もう一回やってみよう」という意欲も見られるようになっていきます。

そして、遊びを通して「一緒に使おう」「いれて」と友だちと関わる姿も増えています。ここで私たちが大切にしているのがお互いの「バウンダリー」です。一方的ではなく、相手の返事を聞く・待つ。お互いが納得した形でやり取りができるよう、必要に応じて仲介や代弁をしています。自分の意見が聞いてもらえた、相手に伝わったという喜びを感じる事で伝えることも聞くことも大切なんだと感じてきてくれるようです(^)子ども達のこれからの成長も楽しみです♪